

2014. 7. 20発行

Yonjyao (よんじゃお) の夏号をお届けします。今回は、女満別図書館員のオススメ本の紹介です。お楽しみに！！

「第8回 大空町児童生徒文学作品コンクール」作品募集

創作の楽しさ、喜びを体験し、文学に親しみをもってもらえるよう、小中学生を対象としたコンクールを今年も実施します。

- 俳句の部 テーマ「夏休み」「お祭り」など
- 川柳の部 テーマ「お祭り」「学校生活」など
- 小説・童話の部 課題自由（400字詰原稿用紙30枚以内）
- 詩の部 課題自由（400字詰原稿用紙3枚以内）



《賞》各部門大賞1点以内・入選2点以内（図書券と賞状）
大賞は該当なしの場合もあります。

「第3回大空町図書館マナーポスターコンクール」作品募集

ポスター創作の楽しさ、喜びを体験するとともに図書館への理解を深めるため、小中高生を対象としたコンクールを今年も実施します。

- ポスターのテーマ 図書館マナーについて
「本を大切に」「飲食禁止」など



《賞》大賞1点以内・館長賞1点以内・入選5点以内（図書券と賞状）
大賞・館長賞は該当なしの場合もあります。

いずれも募集期間 8月1日（金）～8月31日（日）

※くわしくは別に配布される募集要綱で確認してください※

みなさんからのたくさんの応募を待っています。

今回は女満別図書館からのおすすめ本です。

- ★『ぼくの見た戦争 2003年 イラク』 高橋邦典 // 写真・文
中学生の君たちが、生まれて間もない頃のイラク戦争の現実の姿です。
カメラは人の死にも向けられています。国を守るための戦いが、他の国との戦いへと広がるかもしれない時代を生きる中学生の皆さんに、「戦う」以前に決して起こしてはならない戦争の悲惨さについてよく考えてほしいと思います。

寺澤館長 ○

- ★『これでわかった！[超訳]特定秘密保護法』 明日の自由を守る若手弁護士の会 // 著
一般的に法律は、すごくわかりにくい表現で書かれている。
最近成立した「特定秘密保護法」も、とても難しく書かれている。この本はそれをわかりやすく「訳して」いて、読みすすめると、この法律の持つ問題点がこわいほどわかるようになっていきます。
中学生の皆さんの将来を左右する大事な問題に、今から向き合ってほしいものです。

寺澤館長 ○

- ★『るり姉』 椰月美智子 // 著
十代の三姉妹が「るり姉」と呼んで慕うるり子は母親の妹。魅力的なキャラのるり子とその家族の話で、三姉妹や夫などの視点で描かれています。
テンポのいい、読みやすい1冊です。

稲村 ○



- ★『ヘリオット先生と動物たちの8つの物語』 ジェイムズ・ヘリオット // 作 村上由見子 // 訳
イギリスの獣医さんが書いた心あたたまるお話。

杉田比呂美さんのかわいいカラーイラスト満載で、動物が好きな人におすすめです。

稲村 ○



★『「黒ねこサンゴロウ」シリーズ』
竹下文子 // 文・鈴木まもる // 絵
旅ねこサンゴロウの冒険を描いたシリーズ。児童書ですが、完成度の高いストーリーで大人でも十分楽しめます。

特におすすめなのは5巻の「霧の灯台」です！

岩崎

△

★『仕事を選ぶ～先輩が語る働く現場64』

朝日中学生ウィークリー編集部 // 著
女満別図書館の新刊です。

今、憧れの職業に就いている大人たちから中学生の皆さんへのメッセージも収録されています。

どのページを開いても面白く、読み応えたっぷりです。

岩崎

○



★『苦手図鑑』

北大路公子 // 著

勉強で疲れた頭をリフレッシュしませんか？

大爆笑必至です。

植松

○

★『源氏物語 あさきゆめみし』

大和和紀 // 著

コミックです。ちょっと古い本ですが、面白いです。源氏物語は、与謝野晶子、谷崎潤一郎、瀬戸内寂聴など多くの人の訳本がでていますが、これが読み易くおすすめします。これでもっと読みたくなったら全集に挑戦して下さい。

天野

○



★『ライバル』

川上健一 // 著

天才 VS 天然。対照的な二人が、ゴルフを通して戦い、友情を深める青春物語。

○女満別、△両館にあります。

長谷川

○

みなさんも気に入った本があったら、ぜひ読んでみてくださいね。



おおぞらっ子ブックリスト200 【中学生版】からのおすすめ本



『ぎぶそん』 伊藤たかみ | 著

文化祭での発表を目標に結成された中学生バンドの物語。ひとつのものをつくりあげるワクワク感や恋のドキドキを感じさせてくれる1冊です。



『心を整える。』長谷部 誠 | 著
心は鍛えるものではなく、整えるもの。プロサッカー選手が自分を見つめなおすことや心を落ち着かせることの大切さを教えてくれます。

『神去ななあ日常』 三浦しをん | 著

高校卒業と同時に主人公が放り出されたのは三重県神去村。林業を学びながら自然とともに生きる人々のお話。映画にもなっています。



『14歳からの仕事道』 玄田有史 | 著
まだイメージのつかめない将来に向けて、働いてどういうこと?という疑問や不安のある人に考えるヒントを与えてくれる本です。

◎ 4冊すべて両図書館にあります。



図書館の休館日

女満別・毎週月曜、祝日、第4金曜

東藻琴・毎週日曜、祝日、第4金曜

